

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 梅の木

目標達成計画

作成日: 平成 29年 3月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	馴染みの人や場との関係性の継続を維持するための外出の機会が少ない。	馴染みの人や場所との関係を継続しながらその人らしく暮らし続けることができる。	利用者の生活歴や趣味等について丁寧にアセスメントを行い、利用者を理解する。 自然と触れ合う機会を多くする。 近隣の神祭に出かける。	6ヶ月
2	4	運営推進会議に地域の方やご家族の出席が少ない。	近隣住民の参加が少ないため、近隣住民の参加を増やし、多様な意見をホームの運営やサービスに反映させてゆく。	地域住民(駐在警察官・郵便局員・区長委員)に参加していただけるよう依頼していく。 自治体の行事に参加する。 自施設の行事に参加を依頼し、活動内容に興味を持っていただき参加を依頼する。	6ヶ月
3	10	運営等に関してご家族等の要望や意見を反映させる	率直な意見や要望を受け止めながら信頼関係を構築する。	家族会を立ち上げる。 ご家族に家族会の立ち上げの趣旨を説明し協力を依頼する。 ご家族との信頼関係を維持する。	6ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	ご本人やご家族の意向に沿ったケアを提供する。	入居時や体調不良時に、ご家族と今後の療養や終末期について確認し記録する。 主治医や協力医療機関とは密な連携を図る。	12ヶ月